

読んで! 見て!



なすから議会だより



第79号
令和8年2月10日



令和8年 那須烏山市はたちを祝う会
(1月11日)



那須烏山市

目次

- 令和7年第5回 12月定例会のあらまし … P 2～3
- 令和7年第5回 12月定例会主な質疑 …… P 4
- 一般質問 (10人) …… P 5～9
- 常任委員会視察研修報告 …… P 10
- 議会報告会開催報告 …… P 11
- 特集・あとがき …… P 12

- 編集・発行 那須烏山市議会広報委員会
- 問い合わせ 議会事務局 (☎0287-88-7114)

令和7年第5回 12月定例会のあらまし

那須烏山市議会12月定例会は11月28日に招集され、会期を13日間と定め、補正予算案や条例案など計17議案について審議しました。

また、12月3日から5日まで10人が一般質問を行いました。

会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

令和7年度予算を補正

令和7年度の補正予算案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。今回補正された主な内容は次のとおりです。

会計区分		補正前の額	12月補正予算額	合計
一般会計		129億5647万4千円	2億5271万2千円	132億918万6千円
国民健康保険 特別会計	事業勘定	32億5464万2千円	60万円	32億5524万2千円
	診療施設勘定	5694万7千円	53万1千円	5747万8千円
熊田診療所特別会計		5200万円	10万円	5210万円
介護保険特別会計		28億689万6千円	239万3千円	28億928万9千円
水道事業会計	収益的支出	5億7424万6千円	603万4千円	5億8028万円
下水道事業会計	収益的支出	3億2761万5千円	456万円	3億3217万5千円

▼一般会計の歳出の主な内容	補正額
○ふるさと応援寄附金の業務委託料及びポータルサイト使用料等の増額	2371万1千円
○障がい者福祉サービス利用者の増加に伴う扶助費等の増額	8584万3千円
○食料品等の価格高騰の支援のためのひとり親世帯生活支援特別給付金事業費	634万2千円
○市内の一部にナラ枯れ被害が確認されたことに伴う対策のための業務委託料	130万8千円
○市道に堆積している土砂等の撤去を行うための業務委託料	1202万8千円
○緑地運動公園の電線等の修繕及び犯罪防止対策のための事業費	564万7千円

▼歳入の主な内容	補正額
○不要となった市有バスや消防車の公売による売り払い収入	849万円
○一般寄附金	76万4千円
○企業版ふるさと応援寄附金	199万9千円

令和7年第5回12月定例会賛否一覧

(起立による採決)

※中山議長は表決に加わらない。 ○・・・賛成 ●・・・反対

議案等	審議結果	議員別賛否一覧														
		高木洋一	福田長弘	荒井浩二	堀江清一	興野一美	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋谷由放	中山五男	高田悦男	平塚英教	
議案第9号 那須烏山市行政組織及び事務分掌条例の一部改正について	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	●

※その他の議案16件は全会一致で可決されました。

条例制定・改正・廃止

那須烏山市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

保育所等に通っていない生後6ヶ月から3歳未満の子どもが月一定時間の枠内で時間単位で保育所を利用できる「こども誰でも通園制度」を実施するにあたり、遵守しなければならない設備及び運営に関する基準を定める条例を制定しました。

那須烏山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

医療費助成について、医療機関等においてマイナ保険証を受給資格者証としても利用できるようにするため、所要の改正を行いました。

那須烏山市行政組織及び事務分掌条例の一部改正

令和8年度から都市整備課を新設し、都市建設課を建設課に改組するとともに、事務分掌の整備等の改正を行いました。

那須烏山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正

市特別職報酬等審議会からの答申を受け、市長、副市長及び教育長の報酬を引き上げるため、所要の改正を行いました。

那須烏山市境財産区運営基金設置及び管理条例の一部改正

基金の運用から生じた益金のうち、剰余金となるものは基金に積み立てできるように、所要の改正を行いました。

那須烏山市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

市の公式LINEを利用し、オンラインによる印鑑登録証明書の交付申請を可能とするため、所要の改正を行いました。

那須烏山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正

児童福祉法の一部改正に伴い家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準等が改正されたことを受け、関係条例の所要の改正を行いました。

那須烏山市水道事業給水条例及び那須烏山市下水道条例の一部改正

災害等の非常時において、給排水に係る宅内配管の復旧に対応する業者を確保するため、所要の改正を行いました。

那須烏山市国民健康保険高額療養資金貸付基金設置及び管理条例の廃止

高額療養費貸付制度について、貸付の需要が減り、令和元年度以降の実績が皆無のため基金を廃止することに伴い、条例を廃止しました。

令和7年第5回12月議会で審査された請願・陳情

陳情書第6号 那須烏山市城東沢の河川改修について

審査結果 **採 択**

烏山城の城山地区より中央3丁目及び那須南病院の北側を経由して城東地区に流れる城東沢が、台風や豪雨増水時に水害が起きている現状を鑑み、河川改修・早期整備を求めるものです。

陳情書第7号 敬老会等検討委員会設置及び運営要領及び敬老会交付金について

審査結果 **不採択**

敬老会等検討委員会設置及び運営要領が改正されたことについて、改正による条文の削除・追加は不要

であったことを行政に提言するよう求めるものです。また、敬老会交付金について、令和6年度に変更された交付金算定基準は不当であり、当該年度に交付された敬老会交付金を取消し、変更前の算定基準でやり直すこと及び令和7年度も変更前の算定基準で交付するよう行政に提言することを求めるものです。

請願書第1号 市道曲畑森田線の道路整備について

審査結果 **採 択**

市道曲畑森田線のうち、森田大里地内における急カーブや急傾斜、狭隘部の解消等、安全確保のための道路整備を速やかに実施するよう求めるものです。

議決事項

栃木県市町村総合事務組合規約の変更

組合が共同処理する、議会の議員及びその他非常勤職員の公務災害補償事務、非常勤の学校医等の公務災害補償事務に佐野市が新たに加入することに伴い規約の変更を議決しました。

次回の3月定例会は、 2月25日(水) 開会予定です。

正式な日程は2月18日(水)に開催される議会運営委員会で決定されます。

本会議当日はYouTube生配信を行います。

場所：那須烏山市役所南那須庁舎3階（那須烏山市大金240）

傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
11月28日(金)	開会・上程・採決・付託	3人
12月 3日(水)	一般質問	27人
12月 4日(木)	一般質問	9人
12月 5日(金)	一般質問	4人
12月10日(水)	閉会	4人
計		47人

YouTubeで過去の定例会の録画映像を配信しています。



令和7年第5回

12月定例会の主な質疑



12月定例会の議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

令和7年度那須烏山市一般会計補正予算（第5号）について

Q議員 ナラ枯れ対策事業費について、ナラ枯れが見つかった場所と、この予算で対応する本数を伺う。

A農政課長 場所と本数は熊田地内が9本、興野地内21本、小木須地内2本、大沢地内24本である。

Q議員 緑地運動公園の管理費について、ケーブルの補修に560万円とあるが、工事がいつ頃完了し、使用できるようになるのか。また、烏山運動公園の管理費が110万円計上されているが、その内容について詳細を伺う。

A生涯学習課長 補正予算成立後、すぐに発注し1月ぐらいに工事に入り、工事が終了次第使えるようになる。烏山運動公園の管理費は、桜の木が6本枯れて空洞化しているため、補正予算成立後、すぐに伐採を発注する予定でいる。

Q議員 消防自動車等を売払いし849万円の収入増になったが内訳について詳しく伺う。

A総務課長 売払いを行った公用車8台と、廃車した際に下取りされたものが2台、合計10台である。内訳は、市有バスが5台、消防車が3台、乗用車が2台である。

Q議員 ふるさと応援寄附金事業費が2371万1000円の補正だが、この予算措置で、どの程度ふるさと納税が収入として入ってくる見込みなのか伺う。

Aまちづくり課長 9月補正で、ふるさと納税の寄附金の額を1億円と見込んでいたが、見直して1億5000万円とした。その費用を補正するものである。

今年度のふるさと納税額は11月27日時点で1億509万8000円であり、既に見込額を超えている。昨年度も大きく上回る結果となっており、委託料などの必要経費が不足するため補正予算を計上した。

Q議員 住宅建築物安全ストック形成事業費が減額補正になっているが、内容の詳細を伺う。

A都市建設課長 2階建て以下の新耐震設計基準に満たない住宅に対する補助事業について、10月をもって精算したことから、実績に伴う減額補正である。

Q議員 清水川せせらぎ公園改修工事に防犯カメラの設置費用が含まれているのか伺う。

A都市建設課長 防犯カメラに関しては、ただいま検討しているところである。

Q議員 放課後児童健全育成事業費354万7000円の詳細を伺う。

Aこども課長 令和6年度の実績報告に伴い発生した子ども・子育て支援交付金の償還金が318万7000円と、放課後児童クラブの駐車場の入り口部分が、雨水等により陥没して通行車両に被害を与えかねない状況で、その修繕料として36万円を計上している。

Q議員 商工振興資金貸付事業費が344万円計上されているが、この理由について伺う。

A商工観光課長 市では、中小企業振興のために、事業者が資金を借り入れた際に、保証料を市が補助という形で負担する制度がある。この融資の申込みが上半期時点で昨年度の年間件数を超えており、今後も申込みが見込まれることから補正予算を計上した。

Q議員 中学生海外派遣業務委託が昨年度と同じような予算で計上されている。来年度の事業予定では昨年度、今年度と違うところや、反省点、見直しがあるのか伺う。

A学校教育課長 事業内容については、今年度と同等の内容を考えている。令和6年度からオーストラリアへの派遣を始めているが、3年間という形で計画をしており、令和8年度については、同等の事業となっている。



市政前進、
飛躍の年へ

相馬 正典 議員

①川俣純子市長3期目の市政運営について



映像配信はこちら

川俣純子市長3期目の市政運営について

Q 選挙公約の中で、新しいまちづくりブランドデザインを作り「那須烏山市新生プロジェクト」を実行するとあり、5つのプロジェクトが紹介されている。その中で最優先に取り組む課題について伺う。

A 市長 財政厳しき折、事業費が高額だからやらないという選択肢はあっても、公共施設等の整備事業はやらなければいけないと考える。新庁舎整備問題については、頻発化、激甚化する自然災害を考え、防災の司令塔として確実に機能するものでなければ、市民の大切な命と財産を守ることはできない。

また、人口減少が進み、コンパクトなまちづくりが求められている中、JR烏山線の存続や、中心市街地の活性化に繋げるために、新庁舎がまちづくりの拠点として機能することは必要不可

欠であり、子供から高齢者に至るまで、特段の用事がなくても気兼ねなく立ち寄り、くつろぐことができる市民に身近な多世代交流拠点の役割を果たす新たな市のシンボルにふさわしい新庁舎にしたいと考えている。そうした新庁舎を核に市街地の再生に向けた取組を加速させることで、JR烏山線の存続や新たなにぎわいを創出するなど、10年後、20年後の将来を見据えた、相乗効果の高い新たなまちづくりに繋げてまいりたい。

公約である5つのプロジェクトは、単独では成り立つものではなく、全てが連動した一大プロジェクトであり、やすやすと実現できるようなものではないが、皆様の御理解、御協力を賜りながら、私の政治生命をかけ、全力で新たな未来を切り開いてまいる決意である。



議員任期満了の4月
まで全力で取り組ん
でまいります

高木 洋一 議員

①那須烏山市新市長が掲げた「那須烏山市新生プロジェクト」の実現スケジュールと優先順位について

②本市における農業・酪農について



映像配信はこちら

『那須烏山市新生プロジェクト』の実現スケジュールと優先順位について

Q 小中学校体育館および自治会公民館の空調設備(エアコン)設置について伺う。

A 市長 小中学校へのエアコンの設置については、国において屋内体育館施設に係る交付金が創設されているところで、学校長等からも設備の設置の要望を受けている。今後、設置の優先順位や方法を早急に検討する。自治会公民館については自治会からの要望を受けた際、自治会設置集会施設整備事業費補助金やコミュニティ助成金といった支援制度を案内している。引き続き制度を適切に案内しながら設置を促していきたい。



那珂川町立馬頭中学校の体育館に設置されているエアコン

Q 現在のB&Gプールは老朽化が進み、夏期しか利用できない。1年を通して利用できる温水プールや、温泉を併設する構想をどのように位置づけ、検討を進めていくのか伺う。

A 生涯学習課長 整備場所や財源など、解決すべき問題もあるが、先進事例の情報収集など整備に向けた構想策定の準備を進めてまいりたい。

本市における農業・酪農について

Q 鳥獣害被害防止の電柵補助について、拡充はできないか、また牛舎の暑熱対策の設備設置への支援について伺う。

A 農政課長 電柵補助について、本年度は既に執行残がない状況で、要望者に対しては来年度以降の補助利用をアナウンスしている。来年度の予算編成の過程において金額等の検討を考えていきたい。牛舎の暑熱対策に関しては、借入金利子補給など財政支援を行っていきたい。

定例会のあらまし

主な質疑

一般質問

行政視察研修

議会報告会



多くの課題に向けて
全力投球!!

堀江 清一 議員

- ①川俣市長3期目の公約について
- ②防災集団移転促進事業について
- ③防災行政無線について



映像配信はこちら

川俣市長3期目の公約について

Q「(仮称)駅前新風景創出計画」に基づく大金駅周辺の再整備について、具体的な内容を伺う。

A市長 南那須市街地は都市計画法に基づく用途地域に該当していないため、立地適正化計画に基づく財政支援措置を受けることは困難な状況にある。有利な地方債の借入れを推進するなど財源の確保に向けた検討も必要である。具体的な取り組み内容やスケジュール等は、現段階において明確にお答えすることは出来ない。

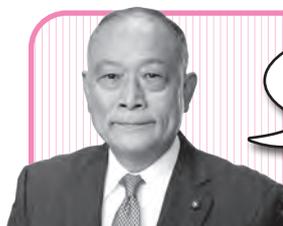
Q市民からは、市民ホール等が欲しいと言う声が圧倒的に多いように感じるが、庁舎と市民ホールどちらを優先して造る予定なのか伺う。

A市長 様々な角度からシミュレーションを実施し実現の可能性について検証している。順位をつけるのは簡単かもしれないが、順番通りにいかないことも考えられ、慎重に検討してい

る段階である。

Q道の駅を整備するとの事だが、具体的な整備内容を伺う。

A市長 本市における道の駅整備に関する課題は、設置場所や財源確保、農業従事者の高齢化や離農による需要に見合うだけの地元農産物等が確保出来ない点にあると考えている。市内の農業団体や農産物直売所、まちづくり団体等と、農業に精通する専門家で構成する(仮称)新世紀農業創出実行委員会を新年度早々に設立し、稼ぐ農業への転換に関する議論を行いつつ、道の駅の整備場所や整備手法、財源確保など、整備に向けた具体的な検討を一つのパッケージとして進める事が実現の近道と考えている。まず委員会をつくり、皆さんの意見を聞きながら進めていく。4年の間に道の駅をつくることは難しいのではないかと考える。



「山あげ」を
歳時記に載せたい

平塚 英教 議員

- ①本市の防災対策の整備・充実について
- ②史跡「烏山城跡」の保存活用計画について
- ③境地区の懸案事項について
- ④「道の駅」の整備検討について
- ⑤防災集団移転促進事業について



映像配信はこちら

史跡「烏山城跡」の保存活用計画について

Q烏山城跡は、2023年3月20日に国の史跡に指定された。本市の貴重な歴史的文化遺産として後世に繋ぎ、地域の誇りとして活用していく史跡となったところである。そこで本市は「史跡烏山城跡保存活用計画」を策定し、進めているが、史跡管理の具体的進め方を伺う。

A教育長 計画は史跡を保存活用していくための方針である。烏山城跡の本質的価値を構成する地形や地質・遺構は、現状保存が原則でありこれに影響を与える変更はできない旨を地権者にもお願いしている。石垣等の経年変化を観察する調査や地震・大雨等の災害を未然に防ぐ対策も進めている。史跡が那珂川県立自然公園であり、眺望や景観に配慮した森林環境の整備を進めるなど保全に努めている。今後は、有識者による外部委員会を設置して史跡整備の基本構

想・整備基本計画を策定して具体的な整備内容を検討してまいりたい。

Q史跡活用のための運営・体制整備を伺う。

A教育長 史跡活用は、本物の山城を体験できることを重点に関連する周辺施設などと連携した幅広い利活用に向けて検討を進めており、AR技術を活用した史跡ツアー等を充実させるほか、観光協会、教育委員会、学校と連携し、観光や教育分野など様々な面で活用を推進してまいりたい。





「浄明正直」常に
浄らかで明るく正しく
正直であること

滝口 貴史 議員

- ①野生鳥獣による農作物他の被害や対策について
- ②市の歴史資料館、郷土資料館等の再建築について
- ③市道の支障木の伐採について



映像配信はこちら

野生鳥獣による農作物他の被害や対策について

Q イノシシなどによる被害の現状と、電気柵設置補助制度の効果について伺う。

A 市長 イノシシなどによる被害で特に多く発生しているのは、水田の圃場荒らしや、農作物の食害等である。電気柵設置に対する補助制度を創設し、今年度においては、現時点で22件の申請があった。自ら農作物及び農地を守ろうとする住民意識が向上している。センサーカメラの活用など、先進的なデジタル技術の導入も視野に入れた効果的な鳥獣被害対策を検討する。

市の歴史資料館、郷土資料館等の再建築について

Q 市の歴史資料や文化財を保存・展示する郷土資料館等の建設の必要性について伺う。

A 教育長 市民の皆様からは、常設展示の必要性や、資料館等の整備を求める声が多く寄せら

れている。烏山城跡が国史跡に指定され、烏山城跡を紹介するガイダンス施設の整備に向けた検討が必要である。庁舎整備検討委員会からの附帯意見として答申されたまちづくりのランドデザインも参考にし、資料館との複合化も含め検討を行う。

Q 平成27年2月に策定された那須烏山市歴史資料館(仮称)基本計画は現在も有効なのか。

A 公共施設再編担当課長 以前策定された歴史資料館の基本計画が廃止となったという認識は持っていない。しかし、烏山城跡が国史跡に指定されたことや、新庁舎整備を含め公共施設の再編・再配置の見直し中であることなど、策定当時とは社会経済情勢が大きく変化しており、実情に即した見直しが必要と考える。まちづくりのランドデザインをブラッシュアップしながら検討を進めていく。



うまそうな雪が
ふんわりふわりかな

渋井 由放 議員

- ①那須烏山市環境基本条例と環境基本計画について



映像配信はこちら

那須烏山市環境基本条例と環境基本計画について

Q 那須烏山市環境基本条例第9条第6項では、環境の状況及び環境基本計画に基づき実施された施策の実施状況を明らかにした年次報告書を作成し、これを公表するものとする、と示されている。

しかし、市のホームページで年次報告書を検索したが見当たらず、報告書を公表することを忘れていいのか、それ以前に報告書が作成されていないのではないかと思った次第である。環境基本条例に基づく年次報告書が作成されているのか、作成されているのであれば、なぜ公表されていないのか伺う。

A 市長 環境基本計画の年次報告は、行財政報告書にて、取組状況を毎年度報告している。また、計画期間の満了により計画の改定を行う際は、

過去5年間の成果を評価し、環境審議会に示した上で、市ホームページ等に公表を行っている。しかし、環境基本条例に基づいた年次報告書の公表ができてなかったことは、大いに反省をしていなければならないと考えている。

改めて、環境基本条例に基づき、適切に年次報告書の公表に努めていく。

Q 年次報告書は、条例が施行された平成20年度版から作成されるべきものだが、何年度から作成されていないのか伺う。

A まちづくり課長 平成20年度版からである。

Q 当初から作成されていないのであれば、さかのぼって報告書を作らないといけないのではと思うがいかがか。

A まちづくり課長 第3次環境基本計画の開始年度である令和6年度版から作成する。



市民待望の
本市独自の道の駅
実現を!!

小堀 道和 議員

- ①夢と希望溢れるまちづくりについて
- ②前例踏襲脱却文化を全職員で実現し市長公約を達成して欲しい
- ③中学生海外派遣事業の本質的改善について



映像配信はこちら

夢と希望溢れるまちづくりについて

Q新庁舎建設も含め課題が山積みだがオール那須烏山体制で未来を見据えて「夢と希望溢れるまちづくり」を推進すべきであり、具体的施策として「オール那須烏山の本市独自の道の駅建設」を提案する。大成功している全国レベルの道の駅には例外なく素晴らしい人材がいる。

市長の提案は道の駅建設のために（仮称）新世紀農業創出実行委員会を設置し、成果が出た後に道の駅に取り組む計画だが、稼げる農業は最重要課題として取り組むも成功事例のない難課題であることから10年単位で遅れてしまう。これらの課題は同時並行で進め、道の駅構想の委員会を立ち上げ、人材発掘も含めた日程を決めて取り組むべきと考えるが見解を伺う。

A市長 本市独自の道の駅建設には、検討着手の段階から、マーケティングに精通する外部の

優秀な人材の登用が重要である。今の状況では、「魅力溢れる道の駅」にはならない。「本市の独自性を発揮できる道の駅とは何か」を徹底的に議論し、明確なコンセプトを打ち出すことが必要不可欠である。（仮称）新世紀農業創出実行委員会や庁内プロジェクトチームの設置は、これらのコンセプトを打ち出す第1歩である。本市が目指す「稼ぐ農業への転換」と「本市独自のシティプロモーション」の推進、そして人材の発掘を含め、中長期的な実現に向けたロードマップを描き、着実に進めていく。



最先進事例の道の駅

魚、肉屋があるオガール 紫波マルシェ

1日楽しめる遊べる 川場田園プラザ



日頃の備え
大事です!

矢板 清枝 議員

- ①要支援者の避難行動に対する支援について
- ②子育て支援施設の充実について
- ③小中学校の学校給食費の支援について
- ④JR烏山線通学定期券購入費補助について
- ⑤特定外来生物への対応について



映像配信はこちら

JR烏山線通学定期券購入費補助について

Q JR烏山線の利用向上策として、JR烏山線を利用して通学する児童生徒に対し、定期券購入費の一部を助成している。規定上、今年度で終了となるが、JR烏山線の存続に向けた取組として非常に有効であると考え。令和8年度以降、市はどのような支援を行うのか、市長の考えを伺う。

A市長 JR烏山線の利用向上は、開業100周年の節目を好機と捉え、官民連携のもとJR烏山線に対する市民愛の醸成及び各種施策に取り組んでいる。JR烏山線通学定期券購入費補助制度はこの一環として、令和5年から令和7年度までの3か年事業として実施している。JR東日本が公表するJR烏山線の平均通過人員は、令和5年度には1日当たり1144人と7年ぶりに増加に転じたものの、令和6年度には1113

人と再び減少している。

通学定期券補助も同様で、令和5年度の補助実績は283名であったが、令和6年度は264名と19人減少している。

JR烏山線の存続に向けて、継続的な取組が必要であり、今後は対象者の範囲を大学生にまで拡大し、補助制度継続の方向で調整していく。

Q利用拡大は大学生だけではなく、専門学校に通っている学生も対象になるのか伺う。

Aまちづくり課長 高校卒業した後の専門学校生も、検討課題とする。

Q手続の簡略化のため、市公式LINEを使って申請ができないか伺う。

Aまちづくり課長 LINEは、導入する方向で考えている。今年度は、市職員を対象にLINEを使った申請の実証実験を行ったところである。



那須南病院を守ろう
地域医療の要

荒井 浩二 議員

- ①電子文書の取扱いについて
- ②情報発信の一元化について
- ③周遊観光について



映像配信はこちら

電子文書の取扱いについて

Q本市ホームページにおける情報公開や選挙公報に関して、個人情報の漏洩や、掲載漏れ等が確認された。電子文書の作成や取扱い、保存データの規格等に関する統一的なマニュアルはあるのか、整備状況について伺う。

A市長 本市では電子決裁システムを導入していないため、電子文書の保存期間や廃棄のルールを含めて明確な定めがない。今後、文書のペーパーレス等のDX化を進めていくにあたっては、電子文書の取扱いに関する規定等の整備を推進する必要があると考えている。県内の先行事例を踏まえつつ、整備の検討をしていく。

情報発信の一元化について

Q本市では多数の広報・情報媒体により情報が発信されているが、配信される情報が分散し、緊急なもの、防災・防犯等に関する情報発信に偏り

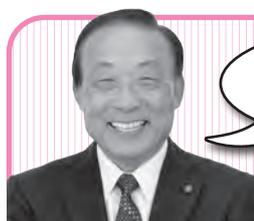
があり、一向に改善されない。庁内での情報の共有と発信の一元化に向けた取組を伺う。

A総合政策課長 インフォカナルに載せた情報をLINEにも出せるように依頼を出していくなど、必要な情報を迅速に発信出来るように各課に周知徹底していく。

周遊観光について

Q本市博物館機能の一部代替として、郷土資料やJR烏山線関係資料の企画展示を、市庁舎や図書館、学校等で行うことは可能か伺う。

A生涯学習課長 図書館サイドでも来館者を増やすために各種イベントを展開しており、今後も展示機会を増やす検討を行っていく。また、郷土資料の貸し出し等については、子どもたちが地元の歴史や文化への理解を深める良い機会にもなるため、すでに貸し出しを行っている江川小学校以外でも積極的に対応していきたい。



今年も柚子胡椒
作りました

高田 悦男 議員

- ①ハラスメントについて
- ②獣害対策について



映像配信はこちら

ハラスメントについて

Q栃木県は2026年2月県議会にカスハラ防止条例を提出すると聞く。

本市においてもカスハラ防止に取り組んでいると思うが、職員からの聞き取りやアンケート等で、実態を把握しているのか伺う。

A市長 近年カスタマーハラスメントについては社会問題化しており、令和7年6月には国会において、労働施策総合推進法の改正により、事業主に対し、ハラスメント対策強化のための雇用管理上の必要な措置を講じることと義務づけられた。同法等に基づき、指針を作成し、取組体制や総合相

談窓口の整備、職員への啓発等を行っている。カスタマーハラスメント対策として、令和7年1月から職員の名札の表示を平仮名表記にし、名字のみの形にした。また、職員に対して実態調査を行い、その結果を受け管理職や総括職を対象としたカスタマーハラスメント研修を実施した。

Q本市において防止条例を制定する考えはあるのか伺う。

A総務課長 現段階では条例化までは考えていないが、今後の国の関連法案等を注視しながら具体的な対応策やそれらをまとめた指針の作成を進めていく考えである。

市議会会議録のご案内

市議会では、本会議でのやり取りを文字起こしした会議録を定例会・臨時会ごとに作成しています。議案に対する質疑のほか、全ての一般質問や、請願・陳情の審査結果の理由なども掲載されています。12月定例会の会議録は2月25日ごろから市立図書館、市議会ホームページでご覧いただけます。



総務企画常任委員会 視察研修報告

日程:令和7年11月4日(火)~5日(水)
視察先:宮城県岩沼市、福島県伊達市

岩沼市ではAIを活用した「AI乗合バス」を運行しています。時刻表や固定ルートはなく、予約に応じてAIが最適経路を算出し利用者を運びます。本市もデマンド交通を運行していますが、利便性向上や経費削減、時代に合った交通ニーズへの対応に向け参考となる取組でした。公共交通の維持には一定の負担が生じますが、持続可能な仕組みづくりが求められます。

伊達市では移住定住施策として「移住定住コンシェルジュ」の取組を伺いました。移住前後の住宅・就業・子育てなど多様な支援により若い世代の転入増につなげています。全国的に少子高齢化が進むなか、本市は特に進行が早く、地域を支える人材確保の視点からも学ぶ点が多い視察となりました。

総務企画常任委員会委員長 興野 一美



文教福祉常任委員会 視察研修報告

日程:令和7年10月30日(木)~31日(金)
視察先:長野県松本市、長野県長野市

松本市では、市域全体を屋根のない博物館として新たな博物館活動を展開する、松本まると博物館構想を推進しています。市民の郷土愛醸成を目的に、市民学芸員養成講座を実施しており、市の歴史に関する講座やフィールドワークなどの内容で構成されています。受講者は修了後も継続的に探究活動をしており、地域資源の情報発信に有効な取組であると感じました。

長野市では、一般の避難所へ避難できない避難行動要支援者が福祉避難所へ直接避難できる仕組みづくりを行っています。大学等と連携し、一人ひとりの心身の状態に合わせた支援体制の整備を進めています。災害の激甚化、頻発化が進むなかで、市民の安心・安全のための取組として大変参考になりました。

文教福祉常任委員会委員長 荒井 浩二



経済建設常任委員会 視察研修報告

日程:令和7年11月6日(木)~7日(金)
視察先:宮城県仙台市

仙台市では、東日本大震災により被災した5か所の地区における、集団移転跡地の利活用を行っております。それぞれの地域の特徴を残しながら、土地利用方針を策定し、事業に取り組んでいました。跡地利用方針策定までに1年間かけて利活用のアイデア募集・市民意見の聴取・検討委員会での議論・住民への説明を行っていました。スピード感のある事業展開に見習うべきだと思いました。

現地では、災害を後世に繋げるため、民間活力を導入した新規事業展開など様々な取り組みが行われていました。

本市でも防災集団移転促進事業を進めているなかで、移転後の先進事例を体感でき有益な視察となりました。

経済建設常任委員会委員長 福田 長弘



福島県国見町議会来訪 令和7年10月29日(水)

福島県国見町議会の皆さんが本市へ視察研修のため来訪されました。

今回の研修では認定こども園について視察され、なすからこども園を見学いただきました。



なすからこども園内を見学

令和7年度第1回議会報告会を開催しました



令和7年度第1回議会報告会を9月27日(土)に烏山公民館、南那須公民館で開催しました。

当日は計42人にご参加いただき、各常任委員会の活動や那須烏山市議会議員のあるべき姿など、市民の方々と様々な意見交換を行いました。

当日ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

報告会の様子は、議会YouTubeチャンネルからどなたでもご覧いただけます。

市民との意見交換 (一部抜粋)



Q 令和6年12月定例会で議員倫理特別委員会が設置されましたが、会議は秘密会(非公開)で、市民に内容が知られていません。議事録の公開はできませんか？

A 議員倫理特別委員会は、これまで会議を5回開き、議員の活動が議員倫理規程に反するものかどうか調査を行いました。調査した結果、規程違反ではないと判断し、議長へ報告をしています。今後委員会では、議員倫理条例策定に向けて調査研究を進めていきます。なお、委員会からの報告の後、議長は調査対象となった議員へ厳重注意を行っています。

議員倫理特別
委員会委員長



Q 議会の各委員会から執行部へ「努力されたい」や「努められたい」といった意見が出ていますが、この後のフォローやチェックはどのように行っていますか？

A 例えば、当初予算で意見したことについては、次の決算の審査でチェックし、さらに執行部への意見を添えています。しかし、一般質問で政策的な質問をした後のフォローの仕組みはありません。これについては、議会改革推進特別委員会の中で協議を進めていきたいと考えています。



議長

↓報告会の録画映像はこちら↓



午前の部



午後の部

報告会での回答の補足

那須烏山市議会会議規則で「秘密会の議事の記録は公表しない」と定めていることから、議員倫理特別委員会の議事録を公開することはできません。会議の過程は公開できませんが、議長が対象議員へ厳重注意を行ったことは令和7年5月30日に市の掲示板で公表しました。

議会ホームページで、定例会・臨時会、各種委員会における議員の出席状況を公開しています。



特集

かつて烏山中学校で英語教員として教壇に立たれていた大貫文(ふみ)さん(栃木市出身、那須烏山市在住)は、国際協力機構(JICA)国際協力推進員として栃木県国際交流協会内で勤務し、近年国内でも増加傾向にある外国人との異文化理解や自国民との融和を図りながら、適正な外国人材の受け入れや多文化共生を支援している。

青年海外協力隊としてネパールに派遣され、現地女性の自立支援や障がい者手帳発行制度の啓発活動を行った。帰国後は大学院で同国の制度や文化を研究し、中学校教員などを経て、現在は県内外で国際理解教育の出前講座を行うほか、市国際交流協会の協力を得ながらセミナーの開催等を行ってきた。

海外出身者が地方でも身近な存在となるなか、大貫さんは「正しい異文化理解を深めるために

国際協力推進員の
大貫さんを紹介します！



も学校や企業、各種団体向けに出前講座を行っていきたい。要望があればぜひ伺いたい」と語る。また、日本語や習慣に不慣れな外国人に向けた防災教育も今後の課題の一つと説く。

多文化共生への備えが十分とは言えない本市において、国際感覚を有した人材を募り、育成し、地域として体制づくりを進めていく必要性を改めて感じた。(文責 荒井 浩二 議員)



JICA栃木デスク
大貫文さん(写真中央)

議場コンサートを 開催します

- 日時:令和8年3月4日(水)
9時20分から
(3月定例会本会議開会前)
- 場所:那須烏山市役所南那須庁舎
3階議場
- 内容:烏山高等学校吹奏楽部による演奏
- 曲名:夏のスケッチ、Brilliant Dances
- 入場無料、事前申込不要です。

皆様のご来場をお待ちしております。



サックスチーム

管楽チーム

あとかき

川俣純子市長が3期目の当選を果たし、最初の議会が終了しました。市長から、5つの新生プロジェクトを掲げ未来へ羽ばたく新たなまちづくりに取り組む覚悟の所信声明を受け、多くの議員が具体的施策についての質疑を行いました。新庁舎建設や水害対策としての集団移転問題、広域課題としてのごみ処理施設や那須南病院リニューアルに加えし尿処理施設建設など多くの難課題が立ちはだかっています。議会と執行部は車輪の両輪であり、市民のために市長3選を期に気持ちを新たに、お互いが切磋琢磨することを確認した議会でもありました。今年(ひのえうま)の年で気性の激しい馬が強いエネルギーで道を切り開く縁起の良い年です。本市並びに皆様にとって明るい未来が開かれる年になることを願っています。

(小堀 道和 議員)